

# 中国市場に関する生命保険業界の 現状と課題



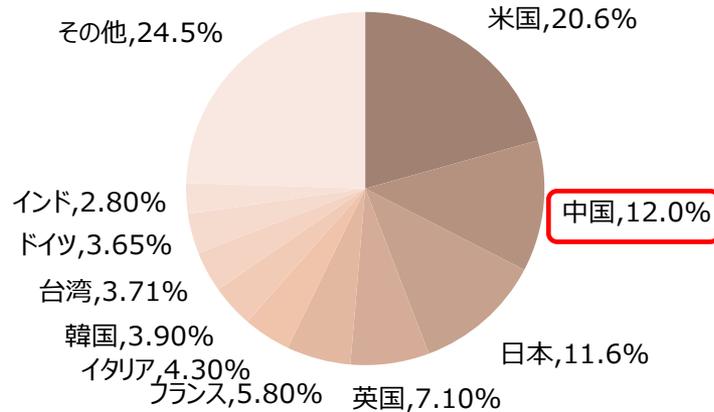
# 中国の生保市場の概要と 今後の課題

# 中国生保市場の現状

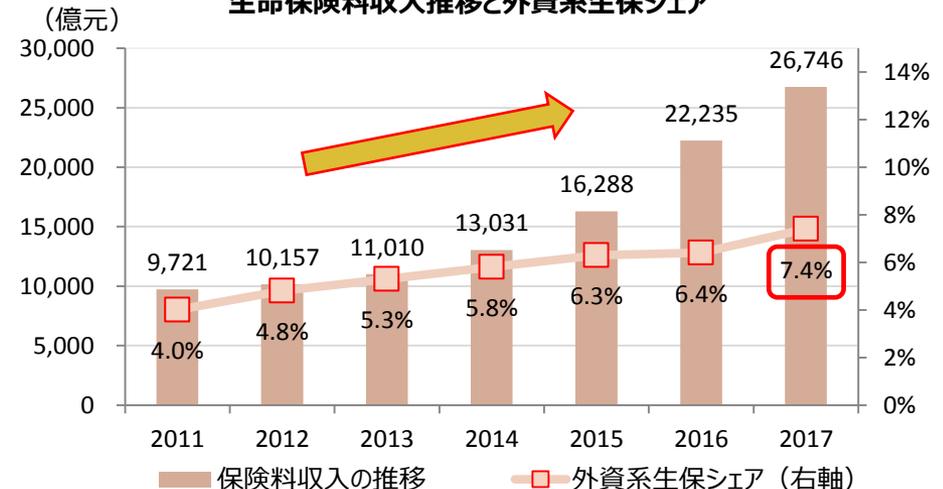
- 中国の生保市場は、米国に次ぐ世界第2位となっており、高い成長率を維持。
- 生命保険料収入は近年順調に成長。中国保険業発展「13次5カ年計画」において、2020年度末時点に4兆5000億元(日本円:77兆8,050億円※1)を目指す※2とされており、依然成長余地あり。
- 外資生保のシェアは安定的に拡大しているものの、2017年時点で7.4%に留まる。
- 生保の主要チャネルは個人代理人と銀行窓販であり、保険料ベースでは全体の9割超を占める。

(※1)2017年末のレート：1元＝17.29円で算出、(※2)生損保等合計の保険料収入

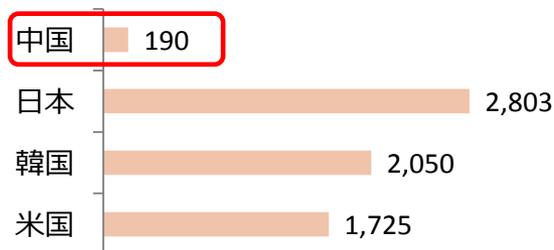
### 世界の生命保険市場 (2017年,保険料ベース)



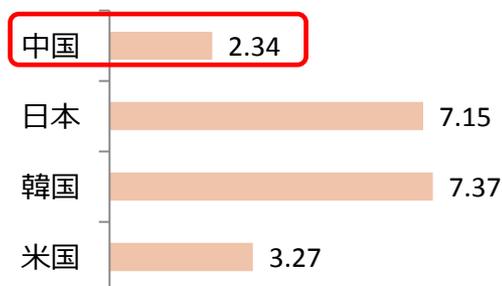
### 生命保険料収入推移と外資系生保シェア



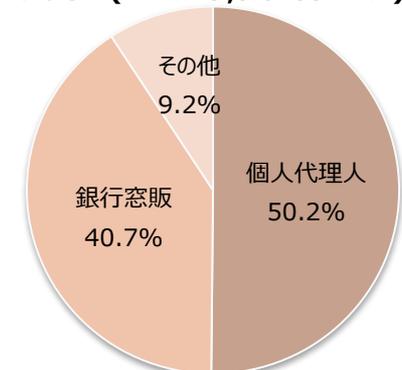
### 国民一人当たり生命保険料収入(米ドル)



### 生命保険料収入の対GDP比 (%)



### 販売チャネル(2017年,保険料ベース)



# 中国で営業する生命保険会社

- 中国では、内国資本57社、外国資本28社の計85社が営業。生命保険料収入ベースでの上位20社はそれぞれ以下のとおり（2017年末時点）。
- 中国の生命保険市場は内資系中心であり、内資上位5社(中国人寿・平安・安邦・太平洋・泰康人寿)で市場の過半を占める。
- 日系企業は、合併での会社設立形態にて、2017年末現在、日本・明治安田・住友の3社が参入。

## 内資上位20社

	内資 上位20社	本社	開業	出資者等	2017年 保険料収入 (百万元)
1	中国	北京	'49		512,268
2	平安	深圳	'88		368,934
3	安邦	北京	'10		189,578
4	太平洋	上海	'91		173,982
5	泰康	北京	'96		115,378
6	太平	上海	'01	AGEAS(ベルギー)	113,925
7	新華	北京	'96		109,294
8	人民	北京	'05	住友生命	106,235
9	華夏	天津	'06		86,958
10	富徳生命	深圳	'02		80,403
11	陽光	海南	'07		51,001
12	天安	北京	'00		48,110
13	国華	上海	'07		46,132
14	中郵	北京	'09		41,079
15	和諧健康	成都	'06		36,086
16	前海	深圳	'12		32,039
17	建信	上海	'98	中国(台)	29,544
18	百年	大連	'09		28,239
19	君康	北京	'06		27,461
20	農銀	北京	'05		23,865

## 外資上位20社

	外資 上位20社	本社	開業	出資者等	2017年 保険料収入 (百万元)
1	工銀安盛	上海	'99	アクサ(仏)	39,651
2	恒大	重慶	'06	グレートイースト(星)	28,101
3	友邦	上海	'92	A I A(米)	20,760
4	交銀康聯	上海	'00	モントリオール銀行(豪)	13,131
5	招商信諾	深圳	'03	シグナ(米)	12,814
6	中信保誠	北京	'00	アールデンシャル(英)	12,022
7	中美聯泰大都會	上海	'04	メットライフ(米)	10,040
8	中意	北京	'02	ジェネラル(伊)	9,396
9	中英	北京	'03	アヴィヴァ(英)	7,368
10	中宏	上海	'96	マニユライフ(加)	6,742
11	華泰	北京	'05	ACEグループ(米)	4,480
12	中徳安聯	上海	'98	アリアンツ(独)	4,042
13	中荷	大連	'02	BNP(仏)	4,021
14	中銀三星	北京	'05	サムソン生命(韓)	3,874
15	同方全球	上海	'03	エイゴン(蘭)	2,699
16	恒安標準	天津	'03	スタンダードライフ(英)	2,627
17	平安健康	上海	'05	デイスカバリー(南ア)	2,147
18	北大方正	上海	'02	明治安田生命(日)	2,034
19	長生	上海	'03	日本生命(日)	1,853
20	陸家嘴国泰	上海	'05	国泰(台)	1,591

# 中国生保市場に係る外資参入規制緩和の概要

- 中国の生保市場における外資参入規制は、中国市場への参入、参入後の事業拡大等の場面において着実に緩和が進んでいる。
- 生命保険会社の外資比率上限について、2018年上半期中に51%まで引き上げ、2021年に完全撤廃とされている。
- 保険代理業について、開業3年以上の外資保険会社が中国で設立した保険代理専門機構は業務を営むことが可能になるとされている。

対象	従来規制	規制緩和の内容	備考
保険会社	生命保険会社の外資比率上限：50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2018年上半期中に51%まで引き上げ</li> <li>● 2021年に完全撤廃※</li> </ul> ※2018/6中国商務部「外商投資参入特別監理措置（ネガティブリスト）（2018年版）」より	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実際に外資が全額出資の生命保険会社を設立する際には中国金融当局の認可が必要となるため、参入条件を満たした場合に、速やかに認可手続きが進められるかどうか等留意が必要</li> </ul>
保険代理業	外国投資家は認められず	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国で開業3年以上の外資保険会社が中国で設立した保険代理専門機構は業務を営むことが可能</li> </ul> ※「銀保監発〔2018〕30号通知」より	—

# 今後の課題について

- 将来的に日本の生保各社が、現地事業の拡大を志向するにあたり、課題となり得るものとして以下が考えられる。

課題	内容
生命保険会社の外資比率上限の緩和	<ul style="list-style-type: none"><li>● 現行、中国の生命保険会社への参入にあたり、外資比率上限は50%とされている</li></ul>
外国投資家による保険代理業の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>● 外国投資家は保険代理専門機構における業務を営むことができない</li></ul>

**(参考)**

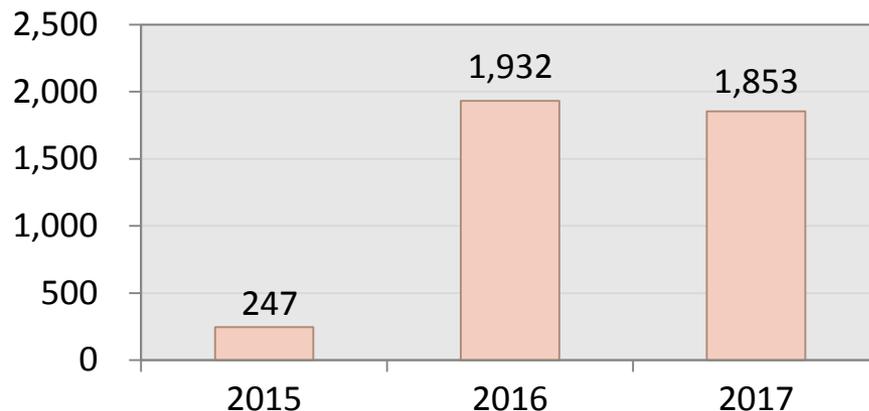
**進出各社の取組状況**

- 2003年の進出から15年。引き続き、合併企業として特徴ある商品・サービス提供に注力。

## 長生人寿保險有限公司の概要

- 設立年: 2003年
- グループ参入: 2003年(出資比率30%)
- 従業員数: 約1,000名(2018年6月末)
- 所在地: 上海市(本社)、浙江省、江蘇省、北京市、四川省、山東省
- 販売チャネル: 代理人、銀行窓販、直販(団保)
- 主な販売商品: 養老・年金保険、医療保険等
- 市場シェア: 0.07%※ (2017年12月末時点、保険料収入ベース)

## 保険料収入の推移(単位:百万元)



## これまでの取組み及び今後の方向性

- 成長著しい中国の生命保険市場において、長江デルタ地域(上海市・浙江省・江蘇省)、華北地域(北京市・山東省)及び四川省で事業基盤を構築
- これまでの事業基盤を礎に、両株主の持つ経営資源、経験・ノウハウ等を最大限活かし、日中合併会社として特徴ある商品・サービスを提供

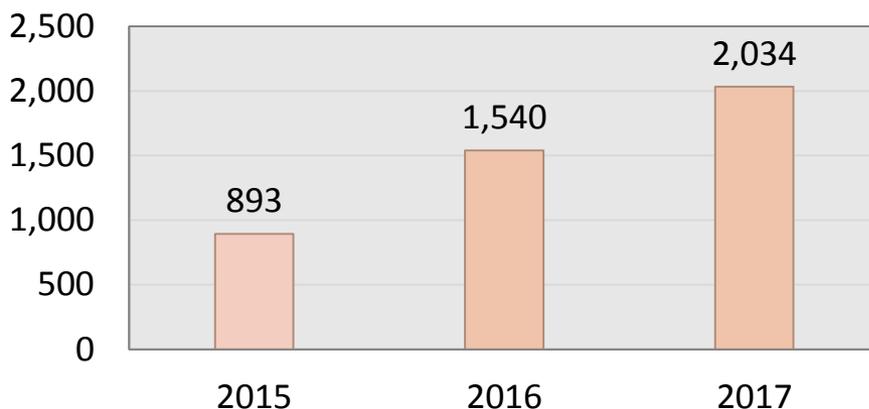
# 明治安田生命保険

- 北京大学を母体とする北大方正グループ、家電事業を中核とするハイアール・グループと当社の3社の協働により、北大方正人寿（合併会社）のさらなる発展に注力。

## 北大方正人寿社概要

- 設立年: 2002年11月
- グループ参入: 2010年（出資比率29.24%）
- 従業員数: 587名(2016年12月末)
- 所在地: 上海市（本社）、四川省、江蘇省  
山東省（含む青島市）、湖北省  
北京市、広東省
- 販売チャネル: 代理人、テレマーケティング  
銀行窓販、団体保険
- 主な販売商品: 養老、重大疾病、年金等
- 市場シェア: 0.08%（2017年12月末時点、  
保険料収入ベース）

## 保険料収入の推移（単位：百万元）



## これまでの取組み及び今後の方向性

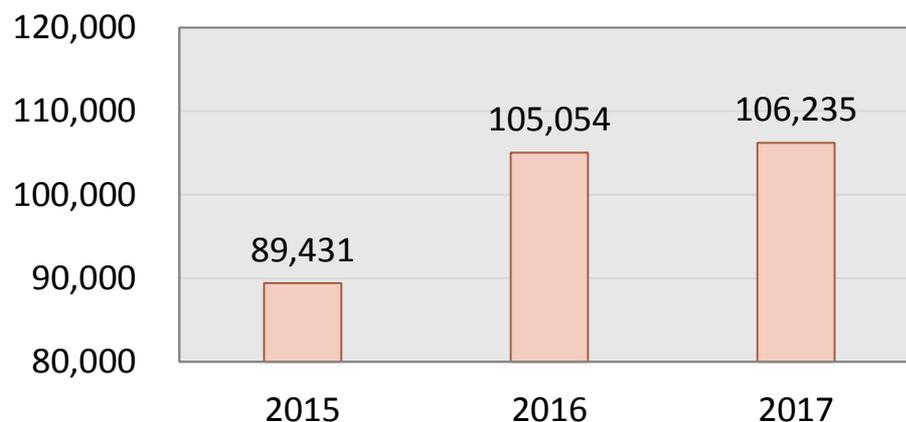
- 上海を中心に営業範囲を四川省・江蘇省等7支社に徐々に拡大
- 北大方正グループとハイアール・グループのブランド力・経営理念・経営資源、明治安田の生保専門の経験を踏まえ、尊敬され、信頼される生保会社として発展するよう取組んでいく

- 2005年に最大手損保PICCP&Cを傘下にもつPICCグループと、PICC生命を設立。設立後、段階的に展開し、現在中国全省に保険販売・サービス提供を実施。

## 中国人民人壽保險概要

- 設立年: 2005年
- グループ参入: 2005年(出資比率10%)
- 従業員数: 約16,000名(2016年12月)
- 所在地: 北京市(本社)・全省
- 販売チャンネル: 保険代理人、銀行窓販等
- 主な販売商品: 養老保険、年金保険、医療保険等
- 市場シェア: 4.3% (2018年6月末時点、保険料収入ベース)

## 保険料収入の推移 (単位: 百万元)



## これまでの取組み及び今後の方向性

- 2005年に当社がPICCグループと同社を設立。当社が29%出資するとともに、多岐に亘る技術援助を実施。全国への早期展開・PICCの資源の活用を実現すべく、2007年に、PICC損保等の出資を仰ぎ、PICCグループ80%・外資20%(当社10%)に戦略的に転換
- 現在、経営層の定期的相互訪問を通じた関係強化、常勤役員の派遣を通じた経営関与、当社関連部署の出張による各種情報交換や同社の来日研修等実施。今後も上記取組みを継続し、同社の成長ならびに企業価値の向上に取り組んでいく